

めぶきアセアンレポート

MEBUKI ASEAN REPORT

2021年9月号

- ◇ 【 バンコク通信 】～タイにおける日本産の輸入食品～ P. 1
- ◇ 【 めぶき FG イベント情報 】 P. 3
- ◇ 【 アセアン駐在員コラム 】 P. 4
- ◇ 【 アセアン各国ニューストピックス 】 P. 5
- ◇ 【 アセアン・インド休日情報 】 2021年9月～2021年11月 P. 6
- ◇ 【 めぶきアジアネットワークのご紹介 】 P. 7

常陽銀行シンガポール駐在員事務所

63 Market Street #11-03
Bank of Singapore Centre,
Singapore 048942
TEL:65-6225-6543

常陽銀行ハノイ駐在員事務所

5th Floor, Sun Red River,
23 Phan Chu Trinh Street,
Hoan Kiem District, Hanoi, Vietnam
TEL:84-24-3218-1668

足利銀行バンコク駐在員事務所

689, Bhiraj Tower at EmQuartier,
27th Floor, Room No. 2714,
Sukhumvit Road, Klongton-nue, Wattana,
Bangkok 10110, Thailand
TEL:66-2-261-2852

本レポートの内容につきましては、当行の信頼し得る先からの情報に基づいて作成しておりますが、その正確性、信頼性を保証するものではありません。具体的に法律上、会計上、税務上の助言を必要とされる場合は、それぞれの専門家にご相談くださいますようお願い致します。



バンコク通信～タイにおける日本産の輸入食品～

タイでは世界中から多くの食品が輸入され、スーパーやデパート等で日常的に販売されています。日本から輸入した食品も多く、日本食品を容易に購入することができます。今回は、今後のビジネス展開の参考にしていただくよう「タイにおける日本産の輸入食品」についてレポートします。

1. 日本産の食品輸入額

2020年のタイにおける日本産の食品輸入額は401億円で、内訳は水産物218億円(54.3%)、農産物179億円(44.7%)、林産物4億円(1.0%)と続きます。

輸入品目については、カツオやマグロなどの加工用水

産物が上位を占めていましたが、ここ数年にかけて、小売店向けの生鮮用水産物やリンゴや桃など果実の輸入が増加傾向となっています。

【図表1：日本からの農林水産物の輸出額上位8カ国】 (億円)

国名・地域	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
香港	1,853	1,877	2,115	2,037	2,061
中国	899	1,008	1,338	1,537	1,639
アメリカ	1,045	1,116	1,176	1,238	1,188
台湾	931	838	903	904	976
ベトナム	323	395	458	454	537
韓国	512	597	635	501	411
タイ	329	391	435	395	401
シンガポール	234	261	284	306	295
世界(計)	7,503	8,073	9,068	9,121	9,223

出所：農林水産省

2. 日本産の輸入食品について

(1) 販売状況および価格

日本産の輸入食品はバンコク市内の日系スーパーだけでなく、タイ資本のスーパーにおいても豊富な品揃えで店頭に並んでいます。輸入に至るまで輸送費や関税などが発生するため、販売価格は日本価格と比較し3倍程度で販売されるケースが多くなっています。

(2) 小売店の調査

実際にスーパーを調査したところ、生鮮用水産物では魚の刺身5点盛590パーツ(日本円で約2,000円)、果実ではマスカット3,550パーツ(約12,000円)、白桃6つパック3,990パーツ(約13,500円)で販売されており、生鮮用水産物は前述の通りおおむね日本価格の3倍程度、果実は3～5倍程度で販売されています。日本産の果実は、他国産と一線を画すプレミアム品として、バンコク市内の高所得者層をターゲットとしたスーパーでの取扱いに限られています。その他の食品でも、インスタント麺や菓子類、調味料が多く並べられ、やはりおおむね日本価格の3倍程度で販売されています。

【写真1：刺身590パーツ】



【写真2：白桃3,990パーツ】



【写真3：菓子類】



(筆者撮影)

(3) 人気の背景

小売店にヒアリングを実施したところ、日本産の輸入食品はタイの中所得者層から高所得者層まで幅広く人気があります。タイにおける食のトレンドは「健康志向」や「安全・安心」であり、おいしいだけでなく、ヘルシーで安全という日本食のイメージが好まれていることが人気の背景にあります。また、新型コロナ感染症拡大の中で日本へ旅行できない富裕層が日本産食品の消費に傾いたことや、外食文化であったタイ国民が、外食を規制され自炊が広がりつつあることから、トレンドの日本産の輸入食品を購入するなど人気を後押ししています。

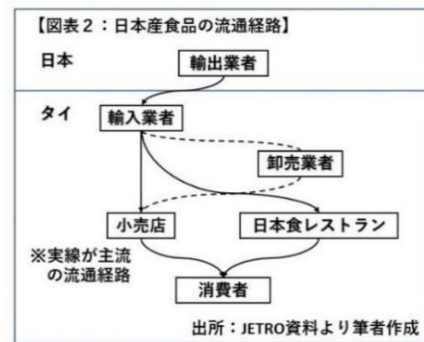
3. タイにおける主な輸入規制

日本を含む外国産の食品をタイに輸入するには輸入許可を受けなければなりません。代表的な例として、タイ保健省食品医薬 (Food and Drugs Administration、以下 FDA) の認可が挙げられ、サンプル輸入においても FDA 認可を取得する必要があります。2021年10月からは、ほぼすべての食品の輸入手続きに際し、製造基準適合証明書 (Good Manufacturing Practice、以下 GMP) が必要になります。GMP 証明書の他、食品によっては植物検疫証明書や衛生証明書などが必要になる場合があるので、品目ごとに確認が必要です。

タイは農業輸出国であるため国内産業の保護という観点から輸入規制は日本よりも厳しく、簡単に食品を輸入できる国ではありません。しかし日本産食品の多くがすでに認可等を取得し輸入されている実績もあり、規制が厳しい中でも、ビジネス展開に向けた取り組みが進められています。

4. 日本産の輸入食品の流通

タイにおける日本産の輸入食品の流通は【図表 2】の通りです。スーパー等の小売店や日本食レストランが、日本の生産者や輸出業者から直接食品を輸入するケースはほとんどなく、輸入業者を介して行われます。輸入業者の多くは自社で小売店または日本食レストランへの売り込みや配送を行っています。また、タイの小売店は輸入業者にスペースを貸し、賃料を取る「棚貸し」が主流であり、在庫を持たないようにする販売努力や在庫を抱えるリスクは輸入業者の役割となっています。



タイの日本産食品の輸入業者は、業者毎に得意とする品目や販路が異なるため、日本から食品の輸出や販売を行う際は、商品に適した現地の輸入業者と提携することが重要なポイントとなります。

5. おわりに

タイでは、日本産食品の消費者が中間所得層にも広がっており、高価であっても日本産の輸入食品が嗜好される傾向にあるため、今後さらに販路開拓の余地が広がると思われます。タイへの食品輸出は簡単ではありませんが、めぶき FG では、市場調査や食品の輸出支援も行っていきます。輸出や海外販路開拓をご検討されているお客様は、お気軽にご相談ください。

【足利銀行バンコク駐在員事務所 駐在員 五津 徳昭】

めぶき FG イベント情報

【第3回目 日本産農水産物・食品 サンプル展示&オンライン商談会 2021 in Thailand】〈募集前〉

商談会場	オンライン商談
商談日程	2022年1月31日(月)～2月25日(金)
商談時間	日本時間 11:00-17:45 (タイ時間 9:00-15:45) 商談枠数 1日6枠 (1枠45分)
申込期間	2021年11月中旬から募集開始予定 ※お申込みは JETRO バンコク事務所 (bgk-food@jetro.go.jp) まで
特徴	○オンライン商談により、希望の場所から参加可能 ○サンプルをタイまで輸送・展示を行い、バイヤーまで配送 ○日本語・タイ語通訳付き ○バイヤーニーズを公開し、希望バイヤーに商談を必ず打診
対象商品	日本産農水産物・食品
主催	日本貿易振興機構 (JETRO) バンコク事務所

JETRO Japan External Trade Organization タイへの販路開拓、チャレンジしてみませんか？

日本産農水産物・食品
サンプル展示&オンライン商談 2021 in Thailand

日本貿易振興機構 (JETRO) では、日本産農水産物・食品のタイへの輸出拡大及び販路開拓を目的とし、タイでのサンプル展示やオンラインによる商談会を開催します。ぜひ、この機会を貴社の海外販路開拓活動にお役立てください。

オンライン商談会の特徴

- Point 1** オンライン商談なので、希望の場所から参加可能！
- Point 2** サンプルをタイまで輸送！展示を行い、バイヤーのお手元まで配送！
- Point 3** 日本語・タイ語通訳付きで、言語に不安でも参加可能！
- Point 4** 商談会は、3回開催！7月・10月・2022年2月
- Point 5** バイヤーニーズ公開！貴社希望バイヤーに商談を必ず打診！

2021年度、全3回開催します！

商談日程 | 第1回目：2021年07月05日(月)～07月31日(金) **【募集終了】**
 (予定) 第2回目：2021年10月18日(月)～11月12日(金) **【2021年8月上旬から募集開始予定】**
 第3回目：2022年01月31日(月)～02月25日(金) **【2021年11月中旬から募集開始予定】**

商談時間 | 日本時間11:00-17:45 (タイ時間09:00-15:45) 商談枠数1日6枠 (1枠45分)
 希望者には、商談に選別 (日本語・タイ語) が付きます。

商談会実施までの流れ (予定) 詳細は出品希望者向け説明動画で配信いたします。是非ご覧ください。

- 1 イベント登録 JETROサイト
- 2 商品登録 JETROサイト
- 3 バイヤーへ商談申込 本事務局ウェブフォーム
- 4 サンプル展示 商談実施

【参考】2020年度開催オンライン商談会の様子

出品者数	商談数	参加バイヤー数
137社	416件	87社

商談に参加したバイヤー例

AEON (Thailand) Co.,Ltd.	ASAN Service CO.,LTD.	Bangkok Food System CO.,LTD	Central Food Retail Co.,Ltd.
Daishe (Thailand) Co.,Ltd.	Donki (Thailand) CO.,LTD.	Food Project (Siam) Co.,Ltd.	Gourmet Market [The Mall Group]
HappyFresh (Thailand) Co.,Ltd.	Ichitan Group Public Company Limited	Jalux Asia Ltd.	Kawasho Foods (Thailand) Co.,Ltd.
Makotoya (Thailand) Co.,Ltd.	Manubeni Thailand Co.,Ltd.	Saha Lawson Co.,Ltd.	Siam Makro Public Company Limited

2020年度商談会の参加出品者の声
 出品者の方々からは下記のような点を評価いただきました。

コロナ禍で渡航が困難である中、国際輸送をジェットロが手配し、バイヤーの手にサンプルが届いた上での商談となったこと。

大手のデパート等、ジェットロのコネクションを利用して、商談ができたこと。

バンコクへ渡航する必要なく参加できるため、ビジネスチャンスが増えたこと。

役に立った
97%
役に立った
80%
役に立った
17%

商談会実施までの流れ (予定) 詳細は出品希望者向け説明動画で配信いたします。是非ご覧ください。

- 1 イベント登録 JETROサイト
- 2 商品登録 JETROサイト
- 3 バイヤーへ商談申込 本事務局ウェブフォーム
- 4 サンプル展示 商談実施

お問合せ：日本貿易振興機構 (JETRO) バンコク事務所 (担当：谷口・河合)
 E-mail: bgk-food@jetro.go.jp

アセアン駐在員コラム

アセアン駐在員コラムでは、東南アジア各国で生活している駐在員や現地スタッフからの情報を発信しています。



【シンガポール】～ワクチン接種者を対象に店内飲食が再開～

シンガポール政府はコロナウイルスと共存する「ウィズコロナ」へ政策転換し、ワクチン接種率の向上に努めてきました。8月末現在では、2回目の接種完了者が8割を超えており、8月10日からワクチン接種完了者（2回目のワクチン接種後2週間経過）を対象に上限5人での店内飲食を再開しました。コロナ前ほどではないものの、再開日から飲食店は賑わい、少しずつ活気を取り戻しつつあります。1日でも早くコロナ前のシンガポールになることを祈っています。

【店内飲食する人々】



(筆者撮影)

(常陽銀行シンガポール駐在員事務所 現地スタッフ 関 順)



【ベトナム】～コロナ感染防止に関するスーパーの取り組み～

「いらっしやいませ。今日は、玉ねぎがお得ですよ」。ベトナム首都ハノイ市では、近所の空き地などで野菜や肉類などを販売する「移動販売店」を見かけるようになりました。現在、市全域で食品、医薬品の買い出しを除く外出禁止措置が続いており、感染リスクを減らすためイオンなどが「移動販売店」を始めました。価格は店舗販売と同様ですが販売時間は毎朝8時～11時とし、営業時間を短くすることで食材の鮮度維持と感染対策を両立しています。規制が厳しい中でもさまざまな知恵を出し合い独自のシステムが生まれています。

【移動販売店の様子】



(筆者友人撮影)

(常陽銀行ハノイ駐在員事務所 現地スタッフ グェン ティ トウイ)



【タイ】～ワクチン接種センター「バンスー中央駅」～

タイでは国内最大の駅「バンスー中央駅」の構内に大規模ワクチン接種センターを開設しています。駅構内は、事前検査・登録・接種・待機の4つのエリアに分かれ、それぞれのエリアで随時100～300人規模の対応が可能です。筆者もバンスー中央駅でワクチンを接種しました。駅構内はとても広く、ワクチン接種カウンターも多いので、とてもスムーズに接種できました。現在バンスー中央駅では、一日に1万人程度のワクチン接種が可能です。接種可能人数はまだ少ないと思いますが、多くの方にワクチン接種が進むことを願っています。

【ワクチン接種カウンター】



(筆者撮影)

(足利銀行バンコク駐在員事務所 現地スタッフ ピンパーペン・サウイター)

アセアン各国ニューストピックス

◎経済

- シンガポール
 - ・ (8/3) 製造業景況感、3期連続でプラス維持
 - ・ (8/12) 成長率予測を大幅に上方修正、6~7%、外需とワクチン接種加速で
 - ・ (8/23) 中国と経済関係強化で合意、新分野で協力も
- マレーシア
 - ・ (8/9) 外貨準備高 1,111 億ドル、7月中旬から横ばい
 - ・ (8/16) 成長率予測を 3~4%に下げ、ロックダウンの影響で
 - ・ (8/19) 7月の新車販売、前月比 3.7 倍の 7086 台
- タイ
 - ・ (8/5) 政策金利 0.5%を据え置き、10 会合連続
 - ・ (8/18) タイ経済回復、3年かかる見通し
 - ・ (8/23) 中銀、来年 2Q にデジタル通貨を試験運用
- インドネシア
 - ・ (8/6) 4~6月の GDP 伸び 7.07%、5 四半期ぶりプラス成長に転じる
 - ・ (8/20) 政策金利 3.5%、6 カ月連続で据え置き
- フィリピン
 - ・ (8/13) 政策金利 2.0%で据え置き、最低水準
 - ・ (8/19) 政府、21 年成長予測引き下げ 4~5%に、外出制限の強化響く
- ベトナム
 - ・ (8/2) 7月の消費者物価指数、2.64%上昇
 - ・ (8/4) コロナ支援で法人税 30%減額、財務省が草案
 - ・ (8/19) 失業率、南部で大幅に悪化か、「30%超」観測も、帰郷相次ぐ

◎その他

- シンガポール
 - ・ (8/10) 出勤制限を最大 5 割に緩和、19 日にも
 - ・ (8/13) 海外のワクチン接種記録、国内で登録可能に
 - ・ (8/23) 接種完了した新規入国者、ステッカーで判別
- マレーシア
 - ・ (8/11) 予約不要のワクチン接種、全国に拡大
 - ・ (8/17) 首相が辞意表明、国王も受け入れ
- タイ
 - ・ (8/2) 都市封鎖を 2 週間延長、対象は 29 都県に拡大
 - ・ (8/17) 反政府デモが再燃、暴徒化で警官隊と衝突
 - ・ (8/23) 7月の外国人旅行者、観光再開で 1.8 万人
- インドネシア
 - ・ (8/13) コロナで一時帰国決定 56%、インドネシア日系
 - ・ (8/23) 米ファイザー製ワクチン、初めて到着
- フィリピン
 - ・ (8/16) 接種証明、統一カード発行へ
 - ・ (8/23) 日本の 100 億円借款、現金給付財源などに
- ベトナム
 - ・ (8/9) 日系企業 6 割超、駐在員に帰国を予定・検討
 - ・ (8/16) 国産新型コロナワクチン、9 月にも生産開始
 - ・ (8/23) ホーチミン市、23 日から終日外出禁止へ

(出所：各種新聞、雑誌)

アセアン・インド休日情報

2021年9月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2 VN	3 VN	4 VN
5 VN	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16 MY	17	18
19	20 JP	21	22	23 JP	24 TH CD	25
26	27	28	29	30		

2021年10月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2 ID
3	4	5 CD	6 CD	7 CD	8	9
10	11	12	13 TH	14	15 ID CD	16
17	18	19 ID MY MM IN	20 MM TH	21 MM	22 TH	23 TH
24	25	26	27	28	29 CD	30
31						

2021年11月

日	月	火	水	木	金	土
	1 PH	2 PH	3 JP	4 SG MY ID	5	6
7	8	9 CD	10	11	12	13
14	15	16	17 MM	18 MM CD	19 CD	20 CD
21	22	23 JP	24	25	26	27
28 MM	29 MM	30 PH				

※ナショナルホリデーのみ掲載
※祝祭日名省略

出典：ジェットロ各国情報等

- JP 日本 MY マレーシア TH タイ
- SG シンガポール PH フィリピン VN ベトナム
- IN インドネシア MM ミャンマー ID インド
- CD カンボジア

めぶきFGアジアネットワーク

お客様の海外進出をサポートするため、様々な機関や外国銀行と業務提携を結び、支援体制の強化を進めています。

◎業務提携先一覧

提携先	常陽	足利	主な業務内容
中国銀行（中国）	●	●	中国国内情報の提供および各種金融サービスの提供
交通銀行（中国）	●		
中国信託商業銀行（台湾）	●		台湾情報の提供および各種金融サービスの提供
カシコン銀行（タイ）	●	●	タイ国内情報の提供および各種金融サービスの提供
バンコック銀行（タイ）	●		
バンクネガラインドネシア （インドネシア）	●		インドネシア国内情報の提供および各種金融サービスの提供
CIMB ニアガ銀行 （インドネシア）		●	
ヴィエティンバンク （ベトナム）	●		ベトナム国内情報の提供および各種金融サービスの提供
ベトコム銀行（ベトナム）	●	●	
ベトナム外国投資庁 （ベトナム）	●		ベトナム関連セミナーの開催協力 ベトナム進出に関する各種支援、投資関連情報の提供
BDO ユニバンク（フィリピン）	●		フィリピン国内情報の提供および各種金融サービスの提供
メトロポリタン銀行 （フィリピン）		●	
インドステイト銀行 （インド）	●	●	インド国内情報の提供および各種金融サービスの提供
バナメックス（メキシコ）	●	●	メキシコ国内情報の提供および各種金融サービスの提供
アグアスカリエンテス州政府 ほか（メキシコ）	●	●	メキシコに関する現地市場調査 投資情報の提供
日本貿易振興機構（JETRO）	●	●	海外事業展開や各国制度等に関する各種情報提供
国際協力機構（JICA）	●	●	途上国での海外事業展開や各国制度等に関する各種情報提供
国際協力銀行（JBIC）	●		海外展開支援融資の提供
日本貿易保険（NEXI）	●	●	輸出入取引を行う際の海外取引リスクに備える各種貿易保険の提供
中小企業基盤整備機構		●	海外事業展開や各国制度等に関する各種情報提供
東京海上日動火災保険	●	●	海外リスク情報等の提供
損害保険ジャパン	●	●	リスクマネジメントコンサルティングサービスの提供
三井住友海上火災保険	●	●	各種損害保険の提供
セコム	●		海外での安全システム・防犯危機商品の提供
総合警備保障	●		海外セキュリティサービスの提供

◎めぶきFG海外駐在員事務所

常陽銀行シンガポール駐在員事務所	63 Market Street, #11-03 Bank of Singapore Centre Singapore 048942 TEL:+65-6225-6543
常陽銀行ハノイ駐在員事務所	5th Floor, Sun Red River, 23 Phan Chu Trinh Street, Hoan Kiem District, Hanoi, Vietnam TEL:+84-24-3218-1668
常陽銀行上海駐在員事務所	上海市延安西路 2201 号 上海国際貿易中心 1901 室 TEL:+86-21-6209-0258
常陽銀行ニューヨーク駐在員事務所	712 Fifth Avenue, 8th Floor, New York, NY 10019 TEL:+1-347-686-8420
足利銀行香港駐在員事務所	Suite 1601, 16th Floor, Tower 2, The Gateway, Harbour City, Kowloon, Hong Kong TEL:+852-2251-9475
足利銀行バンコク駐在員事務所	689, Bhiraj Tower at EmQuartier, 27th Floor, Room No. 2714, Sukhumvit Road, Klongton-nue, Wattana, Bangkok 10110, Thailand TEL:+66-2-261-2852

